

# 平成26年度活動報告書

## 目次

はじめに 平会長 挨拶

### I 地域情報化の推進活動

- I・1 長崎県ICT化推進連絡会議
- I・2 地元企業間連携(コラボ)による県事業の推進
- I・3 長崎EV&ITSコンソーシアム(長崎エビッツ)
- I・4 東長崎エコタウン
- I・5 長崎県IT融合化推進協議会
- I・6 長崎県工業連合会設立協議会(仮称)へ参加
- I・7 シーテックジャパン2014「長崎県ブース」への出展
- I・8 第5回国際スマートグリッド EXPO「長崎県ブース」への出展
- I・9 長崎市関連
- I・10 長崎県中小企業団体中央会関連

### II 交 流 事 業

- II・1 海外との交流事業 (H26 年度 無)
- II・2 他団体・大学等との交流事業
- II・3 長崎県工業技術センターとの意見交換会
- II・4 通常総会・講演会・交流会
- II・5 我が社の一押し
- II・6 ビジネスコラボ事業
- II・7 IPA 第10回「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」協会会長賞授与

### III 研修事業

- III・1 研修事業(長崎県後援)
- III・2 JISA 補助金による研修
- III・3 JAVA アプリケーション技術者養成研修を実施(受託事業)
- III・4 第1回「i(アイ)コンピデンシディクシヨナリ・ワークショップ(iCD-WS)」
- III・5 九経局 九州地域IT関連産業活性化人材養成等事業「クラウド化を先導する高度IT技術者養成事業人材育成研修事業」(H26年度 実施無)
- III・6 大学・他団体等で実施される人材育成研修及びセミナーへの参加

### IV 人材高度化能力開発事業(助成金受給支援事業)

### V 情報収集提供事業

### VI 講演・セミナー事業

### VII 理事会(役員会)

# 平成 26 年度活動報告書

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

## はじめに

平成 26 年度の我が国経済は、「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」の「三本の矢」の一体的推進により、緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費等に弱さがみられ、年度前半には実質GDP成長率がマイナスとなりました。こうした状況の下、雇用・所得環境が改善するなか、経済対策や政労使会議を含む各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復となりました。

本県では、45年ぶりの「第69回国民体育大会」そして「第14回全国障害者スポーツ大会」が10月に開催され、観光客の増加および雇用誘発など経済波及効果があったことが報告されています。

協会活動の重点事業として取り組んできました研修事業は、会員皆様の課題・ニーズをお聞きしながら計画を立て実施しました。実施にあたっては厚労省の「キャリア形成促進助成金」を、会員皆様に積極的に紹介し、活用して頂きました。皆様方にはIT業界における重要な経営資源の柱として、人材育成の重要性をご認識され、熱心に受講して頂き、目標の200名に対し、219名の方に受講して頂きました。さらに、JISA補助金による「地域高度IT技術者育成事業」として2講座16名を加え、合計235名の方に受講頂き、重ねて厚くお礼申し上げます。その他、新たにIPAのITスキル標準を自社に取込む「(アイ)コンピテンシディクショナリ・ワークショップ」を開催し、会員3社が参加されました。これらの積極的な人材育成活動が、業績向上につながるものと期待しています。

次に、情報提供事業では、上部団体(ANIA、JISA)、他団体、大学、行政と連携しながら有益な情報をホームページやメールで皆様にお届けしました。また、会員の企業紹介を一層分かり易く、検索し易くする為に、様式を一新したホームページとなる事業を進めてきました。

JISA補助金による「地域連携事業」活動として、平成24年度に立ち上げました「長崎県ICT化推進連絡会議」は、県内製造業企業様の経営のICT化推進のため、長崎県の「ITを活用した産業競争力強化支援事業」に積極的に参加し、県内の企業様の経営に役立つべく活動を行ってきました。次年度も引き続き活動を推進し、県内の企業様のお役に立てることを願っています。

また、2ヵ月毎に実施していますビジネスコラボ会には、協会役員のみならず、一般会員の方々も参加され、お互いに深厚を図り、信頼感を醸成して、ビジネスの協業へ発展し成果を上げておられる例もあります。

平成 26 年度に賜りました皆様のご支援・ご協力に改めて感謝しご挨拶と致します。

一般社団法人 長崎県情報産業協会  
会長 平 敏 孝

## I 地域情報化の推進活動

国、長崎県をはじめ、市町村、各種団体等と地元企業が協力・提携しながら、課題解決に向けての取組みや施策への提案を行い、県事業へ参画し成果が出ている。

また、国内外の情報サービスに関わる情報やデータを収集し、会員企業及び地域情報サービス産業の発展に役立つよう活動した。

### I・1 長崎県ICT化推進連絡会議(敬称略) :会長 平 敏孝

JISA 補助金による地域活性化事業のうち、「地域連携事業」の一環として、県・長崎工業会・NISA を中心として設立した。

この事業を通して、地域におけるベンダー・ユーザー・IT コーディネーター・行政機関等が連携する仕組みを構築し、地域IT化のためのプロデュース及びコーディネート機能強化を図り、地域自らが「自立自走」の精神でITの「地産地消」を実現する。

#### (1) 背景

- 1) 長崎県における中小企業の情報化推進が経営の改善に大きく役立つこと認識してもらい、現状業務の効率化に十分に達成することが重要課題である。
- 2) 経営環境の大きな変化は、地場企業、ICT 業界共に経営戦略の見直しを余儀なくされている。
- 3) 長崎の ICT 業界は、地場企業の ICT 戦略の担い手としての認知度も低く、地場企業との交流の場も殆どない状況である。
- 4) クラウドサービスは今後の ICT 活用にイノベーションを起こす可能性をもっており、その活用の研究は業界として取り組む必要がある。
- 5) 地場企業の ICT 活用の推進を支援する「地域連携事業」として広範な組織・団体をまとめる場として活動する。

#### (2) 目的: ICT ユーザー・団体、ICT 企業・団体、官公庁、金融機関が一体となり交流し、変革を推進することで各々の競争力を高め地場企業の発展に貢献する。

- 1) 長崎県の中小企業の高度情報化を推進し、企業の発展に貢献する。
- 2) ICT ユーザー業界毎の ICT 利活用の研究会を通じてユーザ、ICT ベンダーの人材育成、企業成長に貢献する。
- 3) ICT ベンダーは、受託開発依存から脱し、地域を変革する情報サービス産業を目指す。
- 4) クラウド活用の研究とサービスの具体化を支援する。
- 5) クラウドの利活用におけるセキュリティに関する支援する。
- 6) 地域において「ベンダー・ユーザー・コーディネーター・行政等」が連携する仕組みを構築し、地域自らが「自立自走」の精神で ICT 化の「地産地消」を実現することを目指す。

また、ICT 化のためにプロデュース及びコーディネート機能の強化を図る。

#### (3) 活動

県内中小製造業の事業効率化に向けた ICT 化推進する。

- 1) 地場企業の ICT 化に対する問題解決には、その課題を経営者とともに明らかにすること、また経営者の課題解決方針を引き出すことで、現場への対応がより明確となる。  
昨年度、経営者にヒアリングし、生産管理の共通する課題が見えてきたが、さらに多くの企業経営者へのヒアリングにより、ICT 化診断を行って、生産管理の共通課題に対する改善・解決へのシステムのひな形の形成が期待できる。ただ、企業現場の課題のヒアリング、診断および共有システム作りには、ICT ベンダーの人材確保と経費の確保が解決すべき点である。
- 2) この課題解決として、地域連携事業の推進を図るため、ヒアリングに同行した県に対し、地域中小製造企業の ICT 活用推進支援について、働きかけ等を行った。その結果、支援事業として、次の通り決定した。  
H26～H28 の3年事業計画で、目指すものは「製造業のIT導入における地産地消モデルの確立。県内情報関連事業の技術力向上や受注機会の拡大」である。  
昨年度実施のヒアリングを本事業で拡大展開するにあたって、協会はIT専門家の立場としてシンクタンクのヒアリングに同行し、意見を交換する。次段階では、システム仕様の検討・開発を進める。

#### (4) JISA H26年度 第1回地域連携推進会議 H26-11-27, 15:00～17:00 JISA会議室

出席: JISA、経産省商務情報政策局・地域情報化人材育成推進室長、地域連携実施10団体(中野企画委員長、事務局長)

- 1) 開会、ii) 議長あいさつ、2) 前年度の活動について、3) 各地域の活動について、4) その他、
- 5) 閉会(17:00)

## I・2 地元企業間連携(コラボ)による県事業の推進

県内中小製造業の事業効率化に向けた「ITを活用した産業競争力強化支援事業」が設定され、中小企業向けシステムの開発、およびITを活用した高齢者生活支援などの支援事業に参画し推進する。

### 「ITを活用した産業競争力強化支援事業」(予定期間:H26年度～H28年度の3年間)

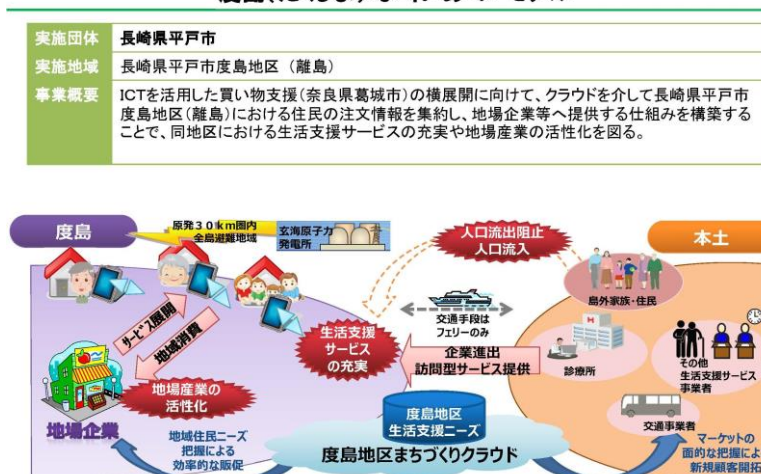
#### (1) 県内中小製造業の情報化支援

- 1) **事業内容:**シンクタンク(富士通総研)による事業可能性調査が委託された。  
 地場企業のICT化に対する問題解決には、その課題を経営者とともに明らかにすること、また経営者の課題解決方針を引き出すことで、現場への対応をより明確にする。
  - i) ITを安価に実現するために必要、もしくは優先すべき項目を整理
  - ii) 事業展開ができ、共同利用できるシステム仕様の検討に対して、アドバイスを実施
- 2) **事業目的:** 中小製造企業のIT化推進の一環として、県内標準の生産管理システムの開発・導入拡大により、県内情報関連事業の技術力向上や受注機会の拡大、および県内中小製造企業の競争力向上を図る。これにより、中小製造業のIT導入における地産地消モデルの確立を目指す。
  - i) 製造業や自治体のIT導入における地産地消モデル確立
  - ii) 県内情報関連企業の技術の向上や受注機会の拡大
- 3) **参加企業:** 全9社、内会員企業は8社
- 4) **活動:** 本事業の推進として、長崎県ICT化推進連絡会議がJISAと進める「地域連携事業」の一環として、活動する。
- 5) **説明会へ会員参加企業が出席**
  - i) 第1回 H26年11月11日(火)、14:00～16:00、出島交流会館 研修室
  - ii) 第2回 H26年12月12日(火)、13:00～15:00、県労働委員会 会議室
  - iii) 第3回 H27年3月10日(火)、10:00～12:00、県歴史文化博物館 会議室

#### (2) ITを活用した高齢者の生活支援

- 1) **事業内容:**シンクタンク(富士通総研)による事業可能性調査が委託された。  
 ITを活用した高齢者の生活支援サービス提供、サービス向上を行うため、県・市町・情報関連企業・大学等で検討会を設置する。
  - i) 市町へのニーズ調査、および有識者によるテーマの検討、選定を実施
  - ii) システム構築のための方針決定、システムの共通仕様の検討
- 2) **事業目的:** ITを活用した高齢者の生活支援サービス提供、サービス向上
  - i) 事業展開ができ、共同利用のできるシステムの構築
  - ii) 県内情報関連企業の技術の向上や受注機会の拡大
- 3) **NISA参加企業:** 2社
- 4) **活動の成果:** 本検討会の成果として総務省事業「H26年度ICTまち・ひと・しごと創生事業」で平戸市が申請し採択された。
  - i) 事業の概要: ICTの一層の利活用により、農業、医療、教育、防災など各分野で地域が直面する課題解決に貢献し、各地域の産業や行政の効率化、生産性向上を通じて地域の活性化に資する事業
  - ii) 実施地域: 平戸市度島地区(離島)「度島たくしま ふ・れ・あ・いモデル」
  - iii) 実施概要: ICTを活用した買い物支援(奈良県葛城市)の横展開に向けて、クラウドを介して長崎県平戸市度島地区(離島)における住民の注文情報を集約し、地場企業等へ提供する仕組みを構築することで、同地区における生活支援サービスの充実や地場産業の活性化を図る。

#### 度島(たくしま)ふ・れ・あ・いモデル



## I・3 長崎EV&ITSコンソーシアム(長崎エビッツ)

平成25年度で事業は終了したが、今後事業化展開を図るため「地元事業化検討会」を中心に「超小型EV」と関連技術の検討が継続された。

### (1) プロジェクト主旨・目的

長崎EV&ITSとは、長崎EV&ITSコンソーシアム(プロジェクト推進のため、産学官で組織した協議会)の議論を踏まえた「未来型ドライブ観光システムの構築」や「エネルギーシステムとEVに係るモデル実証」などの実施、EVを核にして情報通信ネットワーク、エネルギーネットワークが繋がった「EVスマート社会」や「長崎発世界標準」及び「長崎発地域型ビジネスモデル」を創造するプロジェクトである。

具体的には、世界遺産登録を目指す五島地域において、低炭素社会における次世代交通手段である電気自動車等(EV・PHV)と高度道路交通システム(ITS)が連動した「未来型ドライブ観光システム」を構築し、観光振興など地域活性化を図るとともに、EVを核とした情報通信ネットワーク、エネルギーネットワークが構築された「EV&ITSスマート社会」の実現を目指す。

- ・未来型ドライブ観光システムの構築
- ・交流人口の拡大
- ・離島等住民の起業家意欲の醸成と地域活性化
- ・地場産業の技術力向上と新分野進出
- ・企業誘致及び国・民間プロジェクトの誘致

### (2) 長崎EV&ITSプロジェクト「地元事業化検討会」 会議・セミナー (敬称略)

1) 第1回会議 H26-7-31(木) 14:30~17:30、D-FLAG ながさき出島インキュベータ 2F 会議室

i) 講演: 電動バイク事業化と小型EVの認定に向けた取り組み

(株)アクセス代表取締役 今福 勇

ii) 事業化検討会「超小型EVの事業化について」

2) 第2回会議 H26-11-13(月) 14:30~17:30、D-FLAG ながさき出島インキュベータ 2F 会議室

i) 講演: 「かわさき環境ショーウインドウ・モデル事業2013」におけるEV実証化について

(株)日本エレクトライク 代表取締役 松波 登

ii) 事業化検討会「長崎県における小型EV関連事業に取り組むための課題」

3) 第3回会議 H27-3-18(木) 14:30~17:40、橋本商会ビル 3F 1号会議室

i) 講演: 「EVを支える関連技術動向と事業化事例の紹介」

創業支援推進機構 プロジェクトマネージャー 雫 二公雄

ii) 事業化検討会「全体概要とロードマップの紹介」

iii) 平成26年度EV等事業化促進事業の成果報告

## I・4 東長崎エコタウン (敬称略)

### (1) 東長崎エコタウン協議会 … NISA 会員

#### 1) 設立趣旨

長崎総合科学大学が持つ「環境エネルギーの創出、蓄電、制御技術」等の研究成果を積極的に社会貢献、地域貢献に生かす為、東長崎地区で行う「次世代エネルギーの地産地消」、「環境に優しく安全・安心なまちづくり」に関する調査・研究・実証試験の支援を目的とする。

これに賛同する関連企業、団体、地域自治会、大学、行政機関等、各界各層の英知を結集し、長崎県内はもとより、全国のモデル地域となり得るような先駆的取り組みを目指す。

#### 2) 役員(会長、副会長)

会長 田中 義人 長崎総合科学大学 副学長 新技術創成研究所長

副会長 佐藤 康彦 システムファイブ(株) 代表取締役 (NISA 副会長)

宮原 和明 (一社)おひさま Net ながさき 理事長

#### 3) NISA 会員の参加

(株)NDKCOM、(株)MHPS コントロールシステムズ、扇精光ソリューションズ(株)、九州教具(株)、協和機電工業(株)、システムファイブ(株)、(株)ドゥアイネット、(株)長崎ケーブルメディア、(株)ビーオルグ、富士通(株) 長崎支店、および協会として参加

#### 4) 部会

i) 東長崎地域資源活用部会(部会長: 吉田博久、副会長: 江藤春日)

ii) 東長崎街づくり部会(部会長: 宮原和明、副会長: 佐藤康彦)

## (2)プロジェクトの進捗

### 1)文部科学省緑の知の拠点事業

長崎総合科学大学が提案したプロジェクトの事業として、約1.1億円、3年間の事業として採択され、研究が終了した。文部科学省による事後評価も終わり、新エネルギーデバイスの開発やスマートグリッドのフィールド試験用のシミュレータ、エミュレータとして公開をした。

### 2)下水道革新的技術実証事業(B・DASH)

東部下水処理場の汚泥全量を処理し、燃料や肥料に変えることを目的とした下水のゼロ・エミッション化プロジェクトであり、平成26年3月で事業が終了した。

### 3)ENE ハウスプロジェクト

HEMSや環境測定装置の設置も終わり、実験フィールドとして活用が可能となり、スマートハウスの屋内、屋外の温度、湿度、気象データを年間にわたって収集した。

### 4)地域エネルギー活用

漁業との共存を考えた橘湾の洋上風力と、早崎瀬戸での潮流発電による海洋エネルギーのハイブリッド発電システムを検討し、可能性を見出すことができた。

## (4)次年度への事業計画

### 1)産学連携事業の推進

- i)地域エネルギーを活用した地方創生事業の推進
- ii)医療・福祉・見守り・防災を目指したICT街づくりの推進
- iii)東長崎地域の中小企業との連携事業の推進
- iv)下水処理場から出る燃料と肥料の有効活用し、地域での循環システム(汚泥→燃料・肥料→ハウス栽培燃料・野菜等の肥料→食物→排泄)を構築する。

### 2)市民参加型事業の推進

- i)教育機関と連携して、「TERAKOYA活動」を実施
- ii)「長崎街道とおくんち」を日本遺産へ申請する
- iii)市民活動団体との連携したボランティア活動
- iv)市のモデル事業を実施し、先行実証地域としての役割を果たす

### 3)大学の教育研究フィールドとしてのプロジェクト推進

- i)地方創生奨学金の基金創設に向けた活動
- ii)地(知)の拠点事業(COC+)への応募支援
- iii)緑の知の拠点事業の研究成果を東長崎で実証

## I・5 長崎県IT融合化推進協議会(ES-Nagasaki)(敬称略) :会長 佐藤 康彦

長崎県IT融合化推進協議会(ES-Nagasaki)は長崎県内の産学官が一体となり、また、九州域内の関連団体・企業と連携し、県内における組込みソフト技術の向上とこれに関連する地域企業の振興を支援すべく、H22年6月に結成、活動を開始、下記のWG(ワーキンググループ)を結成。

### (1)目的 県内企業での新事業への進出や事業拡大の支援を推進する。

- 1)地元企業でのビジネスチャンス実現に向けた支援
- 2)企業による県等の補助金申請書作成への支援
- 3)関連情報の提供とパートナーの紹介
- 4)長崎県内／九州域内のネットワークを通じた支援

### (2)関連団体

長崎県、長崎市、長崎総合科学大学、九州IT 融合化システム協議会(ES-Kyushu)  
一般社団法人長崎県情報産業協会(NISA)、西九州組込み技術コミュニティ(NET-C)、  
東長崎エコタウン協議会(ENEC)

### (3)AR コンテンツ作成研究会の設立

- 1)目的:本研究会ではAR 利用技術の習得と応用分野の研究を行う。当面の応用分野としては①観光分野ならびに②工場分野についてAR コンテンツ作成を行う。
- 2)参加企業会員 6 社(アイティースペース(株)、エコー電子工業(株)、システムファイブ(株)、十八ソフトウェア(株)、(株)相武システム、第一印刷(株)、他 2 社
- 3) AR コンテンツ作成勉強会の実施
  - i)日時:2014年8月30日(土) 13:30~17:30
  - ii)会場:(一社)長崎県情報産業協会 研修室

iii)内容:スマートフォン等のカメラで撮影した映像にCGを重ねて表示するAR技術は、販売促進やゲームなど多くの場面で使われ始めている。さらに近年、ARコンテンツ作成支援ツールが続々登場していることから、ARは誰でも簡単に扱える技術になりつつある。参加者が実際にPCを操作しながらARコンテンツの作成を体験・習得できるハンズオン形式の勉強会。

## I・6 長崎県工業連合会設立協議会(仮称)へ参加

H26年度第5回理事会(H26年9月18日開催)で参加承認され、11月に「支援会員」に入会した。

### (1)設立の趣旨

県内の製造業及び関連企業が地域や業種・業態の枠を越えて相互に交流、研鑽を深め、経営基盤の強化とともに技術高度化や新分野進出などに意欲的に取り組むことにより、参加企業の事業拡大や企業間取引の拡大を目指すため、製造業及び関連企業を営む事業者及びその団体、ならびに趣旨に賛同する関係団体からなる「長崎県工業連合会設立協議会(仮称)」を設立する。

また、本趣旨の理解促進を通じて起業意欲を喚起し、事業拡大に積極的に取り組む企業の視野拡大を図り、本県工業の振興に寄与するとともに、近い将来の法人化を目指す。

### (2)組織

[会長][副会長][企画委員](事務局・長崎県産業政策課内)―[正会員]―[支援会員]

正会員:県内に本社または事務所を有し、趣旨に賛同する製造業及び関連事業を含む事業者及びその団体  
支援会員:趣旨に賛同し、協議会の活動及び会員を支援する関係団体等

### (3)実施計画事業(案)

- 1)県内企業の経営基盤強化に関する事業
- 2)県内外企業の交流促進に関する事業
- 3)人材確保及び人材育成並びに技術力向上に関する事業
- 4)情報の収集及び提供並びに調査研究に関する事業
- 5)県内企業の販路開拓支援に関する事業

## I・7 シーテックジャパン2014「長崎県ブース」への出展 (長崎県)

国内外のIT&エレクトロニクスの時代の先端を行く最新技術や製品を発表、デモンストレーション  
ライフ&ソサエティステージに出展

H26-10-7(火)~11(土) 5日間、会場:幕張メッセ(千葉県千葉市美浜区中瀬2-1)

参加会員企業:扇精光ソリューションズ(株)、(株)亀山電機、(有)ランカードコム 3社

## I・8 第5回国際スマートグリッド EXPO「長崎県ブース」への出展

((公財)長崎県産業振興財団)

国内外のスマートグリッド/スマートコミュニティの構築に必要なあらゆる製品・技術が一堂に出展

H27-2-25(水)~27(金) 3日間、会場:東京ビッグサイト(東京都江東区有明3-11-1)

参加会員企業:システムファイブ(株)、(株)ユースフル 2社

## I・9 長崎市関連

### (1)長崎市経済振興会議の委員(須藤理事)

1)担当部署:長崎市経済局商工部 産業雇用政策課

2)目的:平成23年3月に策定した「第二次長崎市経済成長戦略」(重点コンセプト:造船・水産・観光)に基づく  
経済振興において、実務的立場から施策を検討し、意見や提言を具体的な施策へ反映させる。

活動は、平成23年度~25年度に実施完了し、26年度に向け下記の基本構造を提言した。

“長崎に固有の能力や強み「船」「食」「観」の活用”

これをベースに、平成26年に「第三次長崎市経済成長戦略」が作成された。

★ 外貨獲得へ向けた、「船」「食」「観」の具体的な方向性の深化・新化と、新たな着目点。

## I・10 長崎県中小企業団体中央会関連

### (1)「平成25年度補正/中小企業・小規模事業者/ものづくり・商業・サービス革新事業」

1)目的:革新的なものづくり・サービスの提供等にチャレンジする中小企業・小規模事業者に対し、地方産業競争力協議会とも連携しつつ、試作品開発・設備投資等を支援。

- 2)対象要件:認定支援機関に事業計画の実効性等が確認された中小企業・小規模事業者であり、以下の要件のいずれかを満たす者
- i)「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤強化を活用していること。
  - ii)革新的なサービスの提供を行い、3～5年計画で「付加価値額」年率3%及び「経常利益:年率1%の向上」を達成する計画であること。

### 3)公募期間と採択数

期 間	長崎県採択数	協会会員採択数
i)1次公募一次: H26/2/17～3/14)	25	2
ii)1次公募二次: H26/3/15～5/14)	42	3
iii)2次公募: H26/7/1～8/11)	40	6

### 4)採択協会会員

地域採択審査委員会および全国採択審査委員会において厳正な審査が行われた結果、協会会員企業は下記11社であった。(中央会公表順)

#### i)ケービーソフトウェア(株)

医療現場のヒヤリハット情報を有効活用して事故防止・対策を強化する製品の開発

#### ii)システムファイブ(株)

スモールオフィス向けEMSの開発(SEMS: Small office Energy Management System)

#### iii)オフィスメーション(株)

3Dプリンタの利活用をデータ作成から製品完成まで、一貫して提供する革新的サービス事業

#### iv)大新技研(株)

電子カルテルが保持する医療情報システムの院外活用と暗線管理

#### v)伊シマル

中小企業の営業力を強化するクラウド型営業支援システムの開発

#### vi)亀山電機

事業用発電所におけるボイラー向けスマート設備保全管理システム開発

#### vii)ドゥアイネット

高齢者向けパワーリハビリテーション機器用モバイル端末の試作開発

#### viii)プロデュースメディア

建物老朽化や災害の対応に資する建物調査・積算業務の効率化システムの開発

#### ix)システック井上(共同 (株)三基)

固形燃料専焼ボイラーの開発とビニルハウス自動過失システムの開発

#### x)協和機電工業(株)

機械の整備および加工工場から排出される含油排水に適用する高度処理装置の開発

#### xi)アイコック

海外展開の製造業向け工程進捗把握システムの開発

## (2)中小企業景況調査

1)平成26年度第1四半期(H26年04～06月期)	調査期間	5/28～6/4	(調査時点 5/30)
2)平成26年度第2四半期(H26年07～09月期)	調査期間	8/18～9/1	(調査時点 8/29)
3)平成26年度第3四半期(H26年10～12月期)	調査期間	10/27～11/13	(調査時点 10/31)
4)平成26年度第4四半期(H27年01～03月期)	調査期間	2/2～3/3	(調査時点 2/27)

## II 交 流 事 業

### II・1 海外との交流事業(今年度 無)

### II・2 他団体・大学等との交流事業(敬称略)

#### (1)ANIA 通常総会と関連行事(敬称略) H26-7-10(木)

- ・アルカディア市ヶ谷 出席者:台風の影響の為、NISAからは出席を見合わせた。
- ・正会員数20会員。出席9会員、委任状提出4会員。

#### 1)通常総会 15:00～15:50

- 議案 i)平成25年度事業報告および平成25年度収支決算報告
- ii)平成26年度事業計画および平成26年度収支予算



**2)講演会** H26-7-10(木)16:00~17:30

## i)演題1 『スマート・ジャパンICT戦略と地域情報化について』

講師 総務省 情報流通行政局 地方情報化推進室長 磯 寿生

## ii)演題2 『文部科学省の情報化人材育成について』

講師 文部科学省 高等教育局 専門教育課長 牛尾 則文

## iii)演題3 『平成26年度 情報政策について』

講師 経済産業省 商務情報政策局 地域情報化人材育成推進室長 小池 雅行

**3)懇親会** H26-7-10(木) 18:00~19:30**(2)第36回 全情連大会「ANIA 岡山大会」への参加**(敬称略)

一般社団法人 全国地域情報産業団体連合会(略称:ANIA)では、地域情報産業の発展や取引拡大に向けた情報交流等を行うことを目的に、毎年各地域の情報産業団体と共催で全国大会を開催し、平成26年は、「岡山」で開催された。

NISA 出席者:7名(平会長、濱本副会長、須藤理事、梁瀬理事、岡氏(JASPA から)、事務局長)

開催:平成26-10-16(木)~17(金)、ホテルグランビア岡山

次回開催:H27年度 ANIA 全国大会は石川県で開催することを今回の理事会で決定、大会で発表された。

**1) ANIA 大会式典** H26-10-16(木) 13:30~14:30

i)開催挨拶 (一社)システムエンジニアリング岡山 会長 前坂 匡紀

ii)主催者挨拶 (一社)全国地域情報産業団体連合会 会長 長谷川 亘

iii)来賓挨拶

岡山県 副知事 足羽 憲治

経済産業省 商務情報政策局 地域情報化人材育成推進室長 小池 雅行

総務省 情報流通行政局 地域通信振興課 地域情報通信振興支援官 片桐 広逸

(独)情報処理推進機構 理事長 藤江 一正

iv)表彰

ANIA 優秀役員表彰

一般社団法人 システムエンジニアリング岡山 名誉会長 中島 博

一般社団法人 神奈川県情報サービス産業協会 事務局長 前田 光文

SEO(システムエンジニアリング岡山)30周年記念表彰

岡山県知事 伊原木 隆太(代理 岡山県副知事 足羽 憲治)

**2)講演「情報社会で【文化】を考える」**

講師 (公財)大原美術館理事長 大原 謙一郎

**3)講演「施設園芸を中心とした農業生産における ICT 利用の現状と今後絵の期待」**

講師 岡山大学大学院 環境生命科学研究科 准教授 安場 健一郎

**4)講演「県内 IT 企業経営者によるパネルディスカッション」**

コーディネータ:岡山大学理事・副学長 谷口 秀夫

パネリスト:両備ホールディングス(株) 代表取締役社長 松田 久

(株)システムズナカシマ(株) 代表取締役社長 中島 義雄

**5)懇親会** (18:00~19:30)

i)開会宣言

ii)開宴挨拶 (一社)システムエンジニアリング岡山 会長 前坂 匡紀

iii)来賓の挨拶 岡山市長 大森 雅夫

iv)鏡割り 来賓および主催者

v)次回大会の紹介 (一社)石川県情報システム工業会 副会長 小清水 良次

vi) 中締め宣言 (一社)システムエンジニアリング岡山 副会長 山根 敬則

**(3)ANIA 新春交流会(東京サテライト展示交流会)**(敬称略)

H27-2-5(木) 18:00~19:30 東海大学校友会館「富士の間」、霞が関3-2-5 霞が関ビル 35 階

Nisa6 名出席:平会長、須藤交流委員長、東京に本社又は支店・営業所を持つ会員2名

・(株)ビーオルグ 代表取締役社長 福田 勝彦、

・(株)相武システム 代表取締役社長 和田 雅資、

・事務局長

・東京サテライト展示交流会への出展:無

#### (4) ANIA 理事会

- 1) **第1回理事会** H26-4-17(木) 15:00～17:00 スタンダード会議室(東京都中央区京橋 2-8-20 京橋ビル)  
事務局長代理出席、出席理事 6 名(理事数 10 名)  
i) 入会承認(一社・山梨県情報通信業協会)について、ii) 平成 25 年度事業報告について、iii) 平成 26 年度事業計画について、iv) 中華民国情報サービス産業協会との MOU についてについて、v) 報告事項・その他(高等教育機関の認証、次回日程について)
- 2) **第2回理事会** H26-5-29(木) 13:00～14:00  
京都情報大学院大学 京都駅前サテライト(京都市南区西九条寺ノ前町 10-5)  
平会長 出席、出席理事 7 名(理事数 10 名)  
i) 総会について、ii) 全国大会(H28 年秋田県)について、iii) 済州 IT 協会(JITA)との MOA について、iv) 報告事項・その他(文部科学省訪問報告、台湾ビジネス交流会について)
- 3) **第3回理事会** H26-10-16(木) 11:30～12:30 ホテルグランピア岡山 3F サファイアの間  
平会長 出席、事務局長オブザーバー出席。出席理事 9 名(理事数 10 名)  
i) 人材育成教育(仮)研究部会の設立について ii) 新春交歓会について、iii) 新来年の全国大会について(H27-9-10,11 金沢大会)、iv) 報告事項・その他(岡山大会、日本ソフトウェア産業協会 30 周年、第 4 回農業 IT カンファレンス in 千葉について、中村前会長経済産業大臣賞受賞報告)
- 4) **第4回理事会** H27-2-5(木) 16:00～17:30 東海大学校友会館「霞の間」  
平会長 出席、事務局長オブザーバー出席。出席理事 7 名(理事数 10 名)  
i) 平成 27・28 年度理事監事選任方法について、ii) 平成 27 年度事業計画について、iii) 平成 27 年度定期総会について(日本ソフトウェア産業協会の 30 周年記念イベントに合流)、iv) 報告事項・その他(全国大会について・・・岡山大会の実施報告・H27 年度金沢市、H28 年度秋田市・H29 年度は ANIA 創立 30 周年記念大会(開催地未定)、部会活動報告、経費・予算執行状況報告、新春交歓会事務連絡、次回開催日程について)、v) メール理事会(H27-3-6～3-20 間審議) 済州国立大学のシーズを事業化する済州大学技術持株株式会社との MOU 締結について、承認いただいたので進める。

#### (5) ANIA 事務局長連絡会議 (敬称略) 事務局長 出席

- 1) **第1回事務局長連絡会議** H26-7-11(金) 台風の為中止
- 2) **第2回事務局長連絡会議** H26-10-16(木) 10:00～11:00 ホテルグランピア岡山 3F サファイア  
i) 会員企業向け社員教育について(エンベックス社)、ii) 岡山大会事務連絡事項、iii) PSQ 認証制度について(CSAJ)、iv) 各協会の状況報告資料に対する質疑応答
- 3) **第3回事務局長連絡会議** H27-2-6(金) 10:00～12:00 八重洲倶楽部 第7会議室  
i) 各協会の状況報告資料に対する質疑応答、ii) マイナンバー法について、iii) ANIA のメリットについて

#### 4) 関連する省庁、団体、施策等

##### i) 総務省地方情報化推進室

##### ii) 全国地域情報化推進協会

##### ①第1回 研究部会 H26-9-24(水) 15:00～17:00 八重洲倶楽部

##### a) 今後の部会について

・教育部会の設立について(理事会へ提案)

##### b) 講演および意見交換会 総務省 情報流通行政局 地域通信振興課長 今川 拓郎

・平成 27 年度 総務省所管予算 概算要求の概要

・平成 27 年度 総務省 ICT 関係重点政策

・総務省の概算要求の概要説明

・H27 年度総務省 ICT 関連重点施策の説明

##### ②第2回 研究部会 H27-2-8(金) 14:00～16:00 八重洲倶楽部 第7会議室

##### a) 補助金の説明、b) 観光、防災、Wi-Fi の整備について紹介、

##### c) 部会活動について、d) 各部会の正副部会長の候補選考

##### iii) 第4回農業 IT カンファレンス」の開催

##### ①農業ITカンファレンスセミナー ; H26-11-6(木) 13:30～17:30 ホテルプラザ菜の花

##### a) 公共情報の オープンデータ化と利活用の推進への IIJ の取り組み

株式会社 株式会社 インターネットニシアティブ

サービスオペレーション本部企画推進室 室長 富米野 孝徳

##### b) オープンデータを活用した地域防災の実践事例～ 流山市との取り組み

独立行政法人防災科学技術研究所

社会防災システム研究領域 研究員 田口 仁

c)観光と地域ブランディングのための映像ソーシャルメディアの有効活用法

ー2020 東京オリンピックに向けた取組みとしてー

城西国際大学 メディア学部 学部長 袁 福之

d)農業におけるオープンデータ・ビッグデータの可能性

日本農業情報システム協会 理事 事務局長 事務局長

株式会社トゥモローズ 代表取締役 代表取締役 堀 明人

e)交流会 H26-11-6(木) 10:00～15:00

②農業ITカンファレンス視察:H26-11-7(金) 9:00～16:30 視察会(木更津市方面、バスで移動)

a)アースイノベーション(株) IT企業による水耕栽培への取り組み

b)横田ファーム 観光農園の新たな取り組み

c)耕す 新規参入による有機農業への取り組み

d)かずさDNA研究所 DNA研究の前線

主催:(一社)全国地域情報産業団体連合会、(公社)千葉県情報サービス産業協会

後援:四国IT農援隊、(一社)千葉県農業協会、日本農業情報システム協会

※セミナーについては、千葉県地域IT化推進協議会との合同開催。

**(6)JISA 九州・沖縄支部会(小倉)**(敬称略) H26-11-12(水) 14:00～18:30 平会長出席  
ステーションホテル小倉

1)開会 主催者挨拶 九州・沖縄地区代表幹事 清水 喜文

2)JISA[副会長挨拶 九州・沖縄地区担当 五十嵐 隆

3)議事

i)経済産業省の情報政策について

経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 課長補佐 平山 利幸

ii)JISA 報告 副会長・専務理事 河野 憲裕

4)講演 テーマ『明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域』

産業考古学会 理事、北九州市門司麦酒煉瓦館 館長

NPO 法人北九州 COSMOS クラブ 理事 市原 猛志

5)情報交換会(4F 豊饒) 17:00～18:30

## II・3 長崎県工業技術センターとの意見交換会 (敬称略)

県工技セの研究成果の説明を伺い、また技術交流の強化の為、意見交換会を開催した。

(1)日 時:平成 26-12-18(木)16:00～17:30

(2)場 所:出島交流会館 9階 展示交流室(長崎市出島町 2-11)

(3)次 第

1)挨拶 NISA 会長 平 敏孝/工業技術センター 所長 馬場 恒明

2)工業技術センターの概要説明 工業技術センター 所長 馬場 恒明

3)おもな新規導入(予定)設備の紹介

・振動試験装置 次長 高見 修

・電気ノイズ安全評価装置 グリーンニューディール技術開発支援室長 兵頭 竜二

・EMI計測システム 電子情報科長 指方 顕

・高精細三次元造形装置 電子情報科 専門研究員 小笠原耕太郎

4)電子情報関係(組込み技術等)の開発事例紹介

・工具交換時期を予測監視(機械装置知的遠隔監視装置の開発) 次長 高見 修

・省エネと省スペースに対応する電力変換装置の開発

グリーンニューディール技術開発支援室長 兵頭 竜二

・研究開発成果の県内企業への技術移転事業 応用技術部長 藤本 和貴

5)元気なものづくり企業成長応援事業について

長崎県産業振興財団 技術高度化支援コーディネーター 中東 文賢

6)意見交換

## II・4 通常総会・臨時総会・講演会・交流会 (敬称略)

(1)第 21 回通常総会 H26-6-27(金) 15:00～16:10 ホテルセントヒル長崎 3F「紫陽花」

1)出席会員数 正会員出席 31 名、委任状 33 名、合計 64 名(総正会員 68 社)

2)議 題

i)第 1 号議案 議事録署名人の選任の件

ii)第 2 号議案 平成 25 年度 活動報告並びに決算・監査報告 承認の件

iii)第 3 号議案 任期満了に伴う理事・監事の選任の件

iv) 第 4 号議案 その他の案件

### 3) 報告

- i) 第 1 号報告 平成 26 年度事業計画
- ii) 第 2 号報告 平成 26 年度収支予算書(正味財産ベース)
- iii) 第 3 号報告 公益目的支出計画実施報告

(2) 第 21 回通常総会 講演会 H26-6-27(金) 16:30~17:40 ホテルセントヒル長崎 3F「紫陽花」

1) 演題 :「データ活用でイノベーションを起こすには」

《詳細は P.16、VI 講演・セミナー事業(2)・1)を参照》

2) 講師(敬称略) : 東京大学先端科学技術研究センター 特任教授 稲田 修一

3) 聴講者 : 66 名(会員 57 名、非会員 9 名)

(3) 新年度 会員交流会 H26-6-27(金) 18:00~20:00 ホテルセントヒル長崎 2F「妙見」

参加者: 64 名(会員 54 名+来賓 5 名+会員外 5 名)

(4) 新春講演会 H27-1-23(金) 16:30~17:30 ホテル セントヒル長崎 3F「紫陽花」

1) 演題 :「セキュリティ脅威と情報サービス産業の信頼性確保」

《詳細は P.16、VI 講演・セミナー事業(2)・2)を参照》

2) 講師(敬称略) : なんとか(株) 代表取締役社長 前田 勝之

3) 聴講者 : 86 名(会員 71 名、非会員 15 名)

(5) 新春産学官交流会 H27-1-23(金) 18:00~20:00 ホテルセントヒル長崎 3F「妙見」

参加者: 総数 72 名(会員 55 名+来賓 17 名)

## II・5 我が社の一押し (敬称略)

会員の優れた製品・システム・技術・管理手法など、特徴あるものを紹介して、会員間のコラボレーションを深めることを目的とする。交流委員会で担当し、開催サイクルは下記の通り、2 回/年開催した。

(1) 6月: 通常総会時 : H26-6-27(金)

1) 十八ソフトウェア(株) 「J-SOX における IT 統制監査について」

発表者 : 調査役 藤田 宏

(2) 1月: 新春産学官交流会開催時 : H27-1-23(金)

1) ユニオンソフト(株) 「でんさいネットの仕組みと対応ソフト『電子債権の達人』」

発表者 代表取締役 濱田 利夫

2) オフィスメーション(株) 「3D デジタル機器を活用した新事業立上げの背景と今後の取組みについて」

発表者 専務取締役 石橋 圭介

## II・6 ビジネスコラボ事業

懇親を通して、会員間交流が進み、さらに「我が社の一押し」に参加して、発表企業が持っている「優れた技術・製品等」に理解を深め、ビジネスのコラボレーションが進むことを図りながら、下記の通り開催した。

(1) 第 21 回 H26-4-24(木) 18:30~20:00 《台湾厨房 圓山》

(2) 第 22 回 H26-8-21(木) 18:00~20:00 《酒菜 アサカゼ ASAKAZE 鍛冶屋町店》

(3) 第 23 回 H26-10-23(木) 18:00~20:00 《焼き鳥・水炊き「十兵衛」》

(4) 第 24 回 H26-12-18(木) 18:00~20:00 《割烹 こじま》

## II・7 IPA 第 10 回「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」協会会長賞授与

インターネットの安全利用への注意はさらに重要になっていると考えられることから、子どもたちがコンクール作品の制作を通して、インターネットの安全利用を意識できるよう、2014 年度も 10 回目のコンクールが独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)主催で実施され、今回から後援し、地域賞(NISA 会長賞)を設定した。

『第 10 回 IPA「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」2014』の地域賞(NISA 会長賞)の入選作品を選定し表彰状と副賞を贈呈。

【標語部門】	今村 海斗 さん	長崎県立長崎北陽台高等学校 1 年
【ポスター部門】	熊本 利玖 さん	対馬市立佐須中学校 2 年
【4 コマ漫画部門】	陣川 心 さん	大村市立郡中学校 2 年

### Ⅲ 研修事業

#### Ⅲ・1 研修事業(長崎県後援)

(株)長崎ソフトウェアセンターの解散により、地元で就業者の研修ができなくなり、長崎県産業労働部のご支援により、平成 20 年度に開始した当協会主催による研修事業は、協会会員様のご賛同を得、人材育成の一端を担うことができた。

平成 26 年度は、皆様からのアンケート結果を反映し 22 講座を設定し、受講者は目標であった 200 人を上回り、219 人となり所期の目的を達成した。

受講された企業の皆様に厚く感謝を申し上げる。

本事業は、NISA 一丸となって、佐藤研修技術委員長を中心に、市村副研修技術委員長の並々ならぬご尽力と会員の皆様のご理解によって、成功裏に終了することができた。

研修計画から運営まで、ご協力頂いた FSC、FJQS、AESI にも感謝申し上げます。

	講座名	開講日	日数	受講者数
技 術 系	ネットワーク設計と構築	5/14・15・16	3	7
	ソフトウェア開発に必須の SQL 技術	5/28・29・30	3	9
	データベースの基礎技術	6/11・12・13	3	5
	HTML5・CSS3、jQuery Mobile 入門講座	7/10・11、 17・18	4	6
	開発者の為の必須のネットワーク技術	7/30・31、8/1	3	11
	HTML5 実践レベルアップ	8/26・27・28	3	7
	Java による Web アプリケーション開発	9/10・11・12	3	5
	VB.NET による Web アプリケーション開発	9/17・18・19	3	8
	Android アプリ開発 入門編・中級編	10/ 9・10、 16・17	4	10
	スマートフォン向け開発の為のアプリケーション開発技術	10/29・30・31	3	8
	クラウドサービスコーディネータ育成と仮想化技術講座	11/18・19・20	3	15
Windows Server 2012 の管理	12/3・4・5	3	11	
(マ ネ ジ メ ン ト) 技 術 系	プロジェクトマネージャ育成の為のプロジェクト計画と見積り	7/2・3・4	3	6
	プロジェクトマネージャ育成の為のプロジェクトの実行マネジメント	8/20・21・22	3	16
	プロジェクトマネジメントの技法	9/3・4・5	3	12
	業務分析設計概説	10/1・2・3	3	12
	「システム開発における要件定義のまとめ方」			
	業務分析・設計の為の業務モデリング実践トレーニング	11/5・6・7	3	14
	システム開発におけるレビュー技法	11/12・13・14	3	8
マ ヒ ン ユ 系	アジャイル開発の実践演習 「スクラムによるプロジェクトマネジメント」	1/14・15・16	3	9
	現場力養成！若手社員の仕事術 「コミュニケーション力と論理思考力を使った問題解決力」	6/18・19・20	3	14
	プロジェクト活動向上の為に求められるヒューマンスキル実践	8/6・7・8	3	16
	ヒトを動かす提案書・企画書作成の為の図解手法	2/4・5・6	3	10
	合 計		68 日	219 名

#### Ⅲ・2 JISA 補助金による研修(「講演セミナー事業」)

JISA からの補助金「地域高度 IT 技術者育成」で下記を計画し、実施した。

##### (1) 軽量 Ruby(mruby)活用技術

H26-12-10(水)・11(木) Nisa 研修室 受講者 5 名

##### (2) プロジェクトリーダーに求められるファシリテーションスキル

H27-1-27(水)・28(木) Nisa 研修室 受講者 10 名

#### Ⅲ・3 JAVA アプリケーション技術者養成研修を実施(「受託事業」)

H26-4-7(月)～6-4(水)(38 日間) Nisa 研修室 受講者 3 名

「助成金を活用した技術者研修で業界No.1」のエンベックス社とのタイアップにより、「キャリア形成促進助成金(認定実習併用職業訓練コース)」を適用して、H26 年度の新入社員研修をNISA 研修室で4月7日～6月4日(38日間)まで実施した。助成金制度の活用により、本研修は企業負担ほぼ無く実施できた。

### Ⅲ・4 第1回「i(アイ)コンピデンシディクシヨナリ・ワークショップ(iCD-WS)」 (中小企業向けITスキル標準)実施(「受託事業」)

九州経済産業局、IPA(独立行政法人情報処理推進機構)および特定非営利活動法人スキル標準ユーザー協会の後援、およびFISA(一般社団法人福岡情報サービス産業協会)協力の下、「第1回iCDワークショップ」を長崎で開催した。

参加会員：オフィスメーション(株)、不動技研工業(株)、(株)NDKCOM

- (1)キックオフミーティング H26-10-2(木) 13:30～16:00 長崎県勤労福祉会館
- (2)第1回 H26-10-10(金) 13:30～19:30 出島交流会館
- (3)第2回 H26-10-11(土) 9:00～12:00 出島交流会館
- (4)第3回 H26-10-24(木) 14:00～17:30 長崎県勤労福祉会館
- (5)第4回 H26-11-7(木) 13:30～17:00 長崎県勤労福祉会館
- (6)第5回 H26-11-21(木) 13:30～17:00 長崎県勤労福祉会館
- (7)第6回 H26-12-12(木) 13:30～17:30 長崎県勤労福祉会館
- (8)テイクオフミーティング H27-1-29((木)、30(金) 参加各企業(各1.5時間)

### Ⅲ・5 九経局 九州地域IT関連産業活性化人材養成等事業「クラウド化を先導する高度IT技術者養成事業人材育成研修事業」(H26年度実施無)

### Ⅲ・6 大学・他団体等で実施される人材育成研修及びセミナーへの参加

#### (1)研修

- 1) 組み込みソフト技術者研修(10月、12月開催)
  - i) 目的 組み込みソフト技術者の育成
  - ii) コース・期間
    - ①電子デバイスコース H26/10/18(土)、19(日)、25(土)、26(日)
    - ②組込プログラミングコース H26/12/6(土)、7(日)、13(土)、20(土)
  - iii) 講師 長崎総合科学大学 情報学部 知能情報学科 教授 田中 義人、教授 下島 真
  - iv) 場所 長崎総合科学大学 (長崎市網場町536)
  - v) 受講料 無料
  - vi) 定員 各コース15名

### Ⅳ 人材高度化能力開発事業(「助成金受給支援事業」)

H16年度からキャリア形成促進事業を始め、H23年度から成長分野等人材育成支援事業(奨励金)、またH25年度には日本再生人材育成支援事業(奨励金)を実施したが、成長分野・日本再生(奨励金)制度はH25年度に終了した。H26年度から制度内容を大きく改訂したキャリア形成促進事業を助成金受給支援事業として実施した。

事務費:「キャリア助成金10%、ただし、認定実習併用コースは1%」として実施。

人材高度化能力開発事業は平成12年度を準備年度として、平成13年度から3年間にわたり、独立行政法人 雇用・能力開発機構の助成金によって、事業を展開し、平成15年度に完了した。平成16年度より、キャリア形成促進助成金、H23年度より成長分野等人材育成支援奨励金、H24年度より日本再生人材育成支援事業(正規雇用労働者育成支援奨励金)に取組み、NISA研修において、研修事業と助成金・奨励金を活用する助成金支援事業は車の両輪である。

また、雇用・能力開発機構が廃止されたため、H23年10月から長崎労働局へ業務担当が移管された。H26年度は、大幅改正されたキャリア形成促進助成金事業に対し、H26年度研修の認定申請手続きを積極的に推奨し申請の支援をした。

## ※キャリア形成促進助成金

IT分野は、技術の進歩が日進月歩であり、常に最新技術を修得することが、企業の将来を左右すると考えられており、人材こそがIT業界における重要な経営資源であると認識され、多くの企業がその育成に取組んでおられることに敬意を表すとともに、NISA 事務局もご支援のため、次のことを続けている。

なお、キャリア形成促進助成金、成長分野等人材育成支援は、H25-5-16、更に H26-10-20 に制度の大幅な改定があり、成長分野等はキャリア形成促進助成金制度の「政策課題対応型訓練」に組込まれた。

H26 年度は下記を実施。

### (1) キャリア形成促進助成金

#### 1) 助成金の申請書様式の計算式の追加搭載

改訂に伴う申請様式等の変更があったため、NISA では、実施計画申請様式に Nisa 研修内容、支給申請では支給額計算式を搭載してわかりやすくまとめ、また作成時の注意点等を労働局に問合せ・確認を行い、申請時の手助けとなるよう会員に連絡した。

#### 2) 訓練実施計画届書のチェック支援(H26-3~)

i) キャリア形成促進助成金は、初回申請は研修を実施前であれば訓練開始の1カ月前まで、以降新規に研修受講の際は、訓練開始前までに「変更届」を提出が必要である。

ii) H23 年度から提出先が労働局へと変更に伴い、申請は「訓練計画実施届」となり認定ではない。

iii) また、新規提出書類として「事業内職業能力開発計画書」の作成要領書を作成し通知した。

iv) 研修実施場所は当初は決定せず、受講者数・インターネット接続等研修内容により決定する。このため決定次第、受講企業から研修場所を変更届としての提出が必要であったが、キャリア助成金申請の委任状を事務局に提出いただき、研修毎に事務局で纏め長崎労働局へ提出し、受講企業の負担軽減と漏れの防止を図っている。

v) 「訓練実施計画届」「変更届」等チェックの支援を 23 社について実施した。(H26-3 月から順次)

#### 3) 支給申請書のチェック支援(確定支給額の 10%、認定実習併用コースは 1%:事務費)

i) H26 年度より支給申請は「各訓練終了日の翌月から 2 か月以内」に申請書の提出が必須となった。

ii) 賃金および経費助成の支給額計算式を入れた申請様式を Nisa で作成し、認定企業に送付し、申請業務の合理化を図った。

iii) 共同チェックについては、年間を通して「各研修の終了から 2 か月以内」に実施した。

支給申請共同チェックは、研修が終了次第順次実施し、申請数は延べ 80 件であった。

### (2) 留意点のメールによる配信と電話相談

## V 情報収集提供事業(「情報提供事業」)

政府をはじめ地方公共団体では、地域情報化に向けて、広く産業界および一般利用者への情報サービスの向上や業務システムの最適・最新化を図るため、情報通信技術(ICT)化を推進している。

これらの実現のためには、ICT 化に関わる政府をはじめ地方公共団体、および産学の取組みの情報を逸早く収集し広く周知し、これを基に認識を深めまた知見を深めていくことが重要である。

その収集・周知の一環として、地域や国内外の情報サービス産業に関わる情報を HP・メールにより広く提供し、会員企業、更に会員外企業の繁栄を目指して活動する。更には、自治体、各種団体等と連携・協力しながら、地域の ICT 化の取り組みや施策の提案等を行う。

(1)提供項目:	1)研修・講座	32 件	
	2)セミナー・シンポジウム	43 件	
	3)報告会・講演会	30 件	
	4)展示会	10 件	
	5)政府および自治体からの通知等	15 件	
	6)試験・コンテスト募集、その他	8 件	
	7)関連団体(JISA・ANIA)情報	110 件	計 248 件

### (2) 他団体情報

情報源として、上部団体である一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)、一般社団法人全国地域情報産業団体連合会(ANIA)、経済産業局、長崎県・市、長崎県産業振興財団からの情報をメールで配信。

1)ANIA (全国地域情報産業団体連合会 会員速報)

2)JISA メール

3)九州経済局からの情報

以上は、東京での開催が多いが、中央での動向を掴む意味で配信した。

4)会員情報 など

### (3) 主情報

1)長崎県工業技術センター「平成26年度ものづくり試作加工支援センター講演」H26-7-23 14:00~16:40

2)長崎県工業技術センター「ものづくりものづくりマネジメントセミナー」H26-12-2 13:30~16:30

3)長崎県工業技術センター「第 5 回長崎県産学官テクノフォーラム」H26-7-4(金) 14:00~17:45

4)長崎県工業技術センター「第 6 回長崎県産学官テクノフォーラム」H26-11-26(火) 13:15~17:30

- 5)長崎県工業技術センター 第14回「先端技術導入促進セミナー」 H26-8-1(金) 13:30~17:45
- 6)長崎県工業技術センター 第15回「先端技術導入促進セミナー」 H26-9-3(金) 13:30~17:45
- 7)長崎県工業技術センター 第16回「先端技術導入促進セミナー」 H27-2-4(金) 13:30~17:45
- 8)長崎県工業技術センター 第17回「先端技術導入促進セミナー」 H27-3-11(水) 13:00~17:00
- 9)長崎県工業技術センター グリーンニューデール技術開発支援室技術セミナー H26-7-11(金) 15:00~16:30
  - i)「パワーデバイスにおける組立技術と現場改善事例の紹介」 H26-5-23(金) 13:30~15:00
  - ii)「進化するプレス加工技術の紹介」 H26-5-27(火) 13:30~15:00
  - iii)「制御・計測技術の紹介」 H26-5-29(木) 13:30~15:00
- 10)長崎県工業技術センター 光技術/パワーエレクトロニクス技術研究会講演会 H26-12-15(月) 15:00~16:10
- 11)長崎県工業技術センター 光技術研究会「ヘルスケアにおける光計測の最前線」H27-2-27(火) 15:00~16:10
- 12)長崎県工業技術センター 「産総研における橋渡し研究の実践」講演会 H26-10-6(月) 14:30~16:00
- 13)長崎県工業技術センター 生産技術研究会「3次元 CAD/CAE セミナー」 H27-1-22(木) 13:00~17:00
- 14)長崎県工業技術センター 「EMC 技術セミナー」 H27-2-4(火) 13:30~15:40
- 15)長崎県工業技術センター 「知的財産セミナー」 H27-2-17(火) 13:30~17:00
- 16)長崎県工業技術センター 「H26 年度 長崎技術研究会活動報告会」 H27-2-18(水) 14:00~17:30
- 17)長崎県工業技術センター 電子情報技術セミナー「クラウド技術」 H27-2-20(金) 14:00~17:30
- 18)長崎県工業技術センター 「電気ノイズに対する耐性と安全性セミナー」 H27-2-24(火) 13:30~16:30
- 19)長崎県工業技術センター 「計測技術の農業利用セミナー」 H27-3-6(金) 13:30~15:00
- 20)長崎県工業技術センター 実装技術セミナー「はんだ接合」 H27-3-12(木) 13:30~15:30
- 21)長崎県工業技術センター 自動制御技術研究会 「RTミドルウェアの講習」 H27-3-18(水) 13:00~17:00
- 22)長崎総合科学大学 公開講演会「地域活性化とデザイン・ブランド戦略」 H26-7-22(金) 13:30~17:00
- 23)長崎総合科学大学 「知的財産権特論」 H26-4-11~8-1(金) 14:45~16:15
- 24)長崎総合科学大学 東長崎学園都市化推進事業記念講演会 H26-12-2(火) 18:00~
- 25)長崎総合科学大学 基礎科学部門設立記念シンポジウム「21世紀の科学技術」H26-12-21(水) 13:00~16:30
- 26)NPO サンスイ機構講演会 「長崎の活性化に向けた新産業技術」 H27-3-24(火) 13:30~17:45
- 27)長崎市 「再生可能エネルギーフォーラム in 長崎」 H27-3-15(日)13:30~16:30
- 28)長崎県 「医療福祉機器等の業界動向セミナー」 H26-11-18(火) 13:30~16:30
- 29)東長崎エコタウン協議会 講演会「東長崎エコタウン構想」 H26-11-18(火) 13:30~16:30
- 30)東長崎エコタウン協議会 「地方再生の先読みと商工会の展開」 H27-3-5(木)14:00~
- 31)長崎商工会議所/工業会 技術・製品プレゼンテーション H26-7-17(火) 15:00~18:10
- 32)産業技術総合研究所 「再生可能エネルギー産業ものづくり技術」 H26-6-30(金) 13:15~17:35

## VI 講演・セミナー事業(「講演セミナー事業」)

ICT化に関わる政府をはじめ地方自治体、産学及び団体が取組んでいる施策に関する情報を、産学官で共有して、新製品・サービスの開発開拓に資することで、地域社会の発展につながることを目的とする。その情報化に関する啓蒙普及の一環として、産学官の専門家を招聘し講演会・セミナーを開催した。

### (1)事業内容

- 1)開催回数 : 2~4回/年
- 2)案内方法 : 県、市、大学、各種団体等、会員にチラシ配付、メール配信、および当法人のHPに掲載
- 3)対象 : 会員および非会員(行政職員、大学職員、および各種団体職員)
- 4)参加人数 : 40~80名

### (2)実施内容(敬称略)

- 1)通常総会時講演会 H26-6-27(金) ホテルセントヒル長崎
  - i)演題 : 「データ活用でイノベーションを起こすには」
  - ii)講師 : 東京大学先端科学技術研究センター 特任教授 稲田 修一
  - iii)概要 : ビッグデータ、それからその収集手段である M2M(Machine to Machine)やセンサーネットワークに注目が集まっている。しかし、データありき、技術ありきの考え方では、イノベーションにつながらないことが多い。ユーザ起点の発想で、ビジネス課題や社会課題の解決をめざすところに成功の鍵がある。意思決定のツールとしても注目を集めているデータ活用によるイノベーション、イノベーション軸のシフトに対応した人材登用法、データから価値を創出する考え方についての講演である。
  - iv)聴講者 : 66名(会員57名+非会員9名)
- 2)新春講演会 H27-1-23(金) ホテルセントヒル長崎
  - i)演題 : 「セキュリティ脅威と情報サービス産業の信頼性確保」
  - ii)講師 : なんとか(株) 代表取締役社長 前田 勝之
  - iii)概要 : 昨年2014年は、様々な情報セキュリティインシデントが話題になった。



技術的には、ハートブリード脆弱性やシェルショックと、重大な欠陥が発見され、悪用されたことが全世界的な脅威となった。

国内では、ベネッセの個人情報流出事件が話題となり、一般の市民にとっても、個人情報保護の必要性を改めて実感することになった。その様な意味で、昨年 2014 年は、情報システムとその信頼性の確保が、ビジネスの上でも、安心して生活を営む上でも、非常に重要な社会になっているという認識を、改めて強く与えた一年であった。

今後、より重要化する情報システムの信頼性確保について、その担い手である情報サービス産業が担うべき大切な役割である。情報システムの信頼性を確保するために、これまで取り組まれてきた事例をご紹介するとともに、これからの情報サービス産業に望まれるようになると思われる取り組みを考察する。

iv) 聴講者 : 86 名(会員 71 名+非会員 15 名)

3) セミナー H25-8-30(土) NISA 研修室

i) 演題 : 「AR コンテンツ作成勉強会」

ii) 講師 : アイドットデザイン 越水 大輔

iii) 概要 : 「スマートフォン等のカメラで撮影した映像に CG を重ねて表示する AR 技術は、販売促進やゲームなど多くの場面で使われ始めている。PC を操作しながら AR コンテンツの作成を体験・習得する。

iv) 聴講者 : 10 名(会員 9 名)

## Ⅶ 理事会(役員会) 主な項目のみ下記に記す (敬称略)

(1) 第 1 回 理事会(役員会) H26-4-24(金) 15:00~17:10、十八ソフトウェア(株)、議事録担当 野上理事  
役員以外の出席者: 長崎県産業技術課 下窄課長補佐、山田係長

1) 県・中央会から事業の説明

i) 「中小サービス事業者人材育成事業(案)」(経産省事業)の説明

県産業労働部 商務金融課 サービス産業振興班 係長 井内 真人

県中央会: 次長兼総務情報課長 村里 光博

ii) 【新規】IT を活用した産業競争力強化支援事業の説明

県産業労働部 産業技術課 新産業支援班 課長補佐 下窄 賢剛様、係長 山田 薫

2) H26 年度役員(理事・監事)の公募(4/23 現在)の結果の報告

3) H26 年度理事会・役員会の開催日程: 承認

4) H26 年度通常総会の日程・講演会テーマ・わが社の一押し発表企業

i) 開催日・場所、講演会テーマおよび講師、行事担当: 承認

ii) 「わが社の一押し」発表の選定企業は、可否検討依頼を決定

5) H25 年度仮決算と仮法人税・仮消費税: 承認

6) NISA 委員会の状況報告と来年度の各委員会方針と運営の策定と決定: 承認

7) Web 会議システムの導入について: 承認

8) 長崎県工業技術センターとの交流会開催: 承認

9) (学)長崎総合科学大学、NISA、(株)アルトナーとの連携協力: 承認

(2) 第 2 回 理事会(役員会) H26-5-22(木) 15:00~17:15、十八ソフトウェア(株)、議事録担当 井川理事  
役員以外の出席者: 長崎県産業技術課 下窄課長補佐、山田係長

1) H26 年度役員(理事・監事)の立候補者(5/21 現在)の確認と、「県南・北拡大委員長」の推薦: 承認

2) 平成 26 年通常総会等行事内容と体制(6/27): 承認

3) H26 年度決算概要(監査 5/16 完了)、酒井監事から報告: 承認

4) 県「IT を活用した産業競争力強化支援事業」の取組み: 承認

5) 平成 26 年度 JIISA 地域活性化事業の実施応募: 承認

6) NISA 委員会の状況報告と来年度の各委員方針と運営: 承認

7) ANIA 平成 26 年度 第 2 回理事会 出席 平会長

(3) 第 3 回 理事会(役員会) H26-6-27(金) 13:30~14:10、ホテルセントヒル長崎、議事録担当 須藤理事  
役員以外の出席者: なし

1) 平成 26 年通常総会等内容・行事体制再確認: 確認

2) 平成 26 年度 JIISA 地域活性化の「地域連携」「高度化」および「高度 IT 技術者育成」の各事業の申請: 承認

3) 「絆データシステム(株)」入会: 承認

4) 平成 26 年度 ANIA 通常総会の出席者 会長・事務局長: 承認

5)長崎での「CCSF ワークショップ」開催:承認

**(4)臨時理事会(役員会)** H27-6-27(金) 16:00~16:10 ホテル セントヒル長崎 役員以外の出席者:なし

- 1)代表理事1名の選任(平理事):承認
- 2)副会長2名の選任(佐藤理事、瀨本理事):承認
- 3)委員長6名の選任(研修 佐藤理事、県南拡大 若杉理事、県北拡大 小原理事、交流 須藤理事、総務広報 梁瀬理事、企画 中野理事):承認

**(5)第4回 理事会(役員会)** H26-8-21(火) 15:00~17:30、Nisa 研修室、議事録担当 梁瀬理事  
役員以外の出席者:なし

- 1)平成26年度 JIISA 地域活性化の「地域連携」「高度化」および「高度IT技術者育成」の各事業の申請に対し助成金回答あり、各事業の実施内容:承認
- 2)「九経局・福岡県」ものづくりにおける組込みソフトウェアへの軽量 Ruby活用促進プロジェクト支援:承認
- 3)ARコンテンツ作成勉強会 in 長崎(8/30開催):承認
- 4)IPA 情報モラル・セキュリティコンクール作品選出・表彰について作品選考:承認
- 5)第36回全情連大会 ANIA岡山大会(10/16.17)の参加者:承認
- 6)長崎県工業技術センターとの交流会の開催(予定:H26-12-18、14:00~15:30):承認
- 7)NISAニュース14号の作成・発行:承認
- 8)第1回 CCSF ワークショップ参加企業の募集(8/22締切)結果3社参加:確認
- 9)その他
  - i)産官学連携センター(長崎総合科学大学)の紹介
  - ii)「ストレスチェック義務化(厚生労働省)」について説明

**(6)第5回 理事会(役員会)** H26-9-18(木) 15:00~17:30、十八ソフトウェア(株)、議事録担当 若杉理事  
役員以外の出席者:なし

- 1)県から事業の説明  
「ITを活用した産業競争力強化支援事業」について:県産業技術課 課長補佐 下窄、係長 山田
- 2)平成26年度 JIISA 地域活性化事業
  - i)会員情報データベースフォーマットについて検討を進める:承認
  - ii)「高度IT技術者育成」の研修2講座:承認
- 3)新入社員向け技術者研修の開催:承認
- 4)長崎県ものづくり競争力強化推進協議会(仮称)参加:承認
- 5)2014年ソフトウェアの労働実態調査(情報産業労働組合連合会)自主参加:承認
- 6)長崎県ODA技術シーズ発掘調査業委託に係る NISA 会員リストの提示と調査の協力:報告

**(7)第6回 理事会(役員会)** H26-10-23(金) 15:00~17:30、Nisa 研修室、議事録担当 内田理事  
役員以外の出席者:長崎県産業技術課 山田係長

- 1)長崎総科大学から「産官学連携センター」のご説明  
長崎総科大 産官学連携センター 産官学連携コーディネータ 工学博士 金丸 英幸
- 2)平成26年度 JIISA 地域活性化事業(会員情報の調査項目):承認
- 3)平成27年新春講演会(1/23)テーマおよび講師の検討(企画委員会):承認  
長崎総科大 非常勤講師 前田勝之氏を第一候補とする。
- 4)平成27年新春「わが社の一押し」(1/23)発表企業の検討(発表する会員の募集):承認  
発表一社は、オフィスメーションから「3D プリンター」関連
- 5)長崎市産業技術審査会 臨時委員の就任(市 経済局商工部 産業雇用政策課 立地創造係):確認
- 6)NISA ポスターおよびパンフレットの作成(デザイン・内容):承認
- 7)IPA 情報モラル・セキュリティコンクール作品選出(総務広報委員会):作品の選定実施
- 8)その他
  - i)H27年度の研修項目について(報告)

**(8)第7回 理事会(役員会)** H26-11-20(木) 15:00~17:00、Nisa 研修室、議事録担当 瀨口理事  
役員以外の出席者:なし

- 1)平成26年度 JIISA 地域活性化事業 企業情報項目:承認
- 2)平成27年新春講演会(1/23)テーマおよび講師(企画委員会):承認  
(なんとか(株) 前田 勝之氏)
- 3)平成27年新春「わが社の一押し」(1/23)発表企業:承認

(オフィスメーション、ユニオンソフトの2社)

- 4)平成 27 年新春講演会・わが社の一押し・交流会体制および会費 7,000 円:承認
- 5)平成 27 年新春産学官交流会のご招待者:承認
- 6) H26年度JISA補助金よる研修の受講者募集[先着順]: 申込期限11/28(金):受講の依頼
- 7)政策課題対応型キャリア形成促進助成金』を活用した2015年度技術系新入社員研修説明会:参加の依頼
- 8) NISA ポスターおよびパンフレットの作成:承認
- 9)その他
  - i )H27 年度の研修項目について調査回答の依頼

**(9)第8回 理事会(役員会)** H26-12-18(木) 15:00~15:50、Nisa 研修室、議事録担当 中野理事  
役員以外の出席者:なし

- 1)平成 27 年新春行事スケジュール「わが社の一押し・講演会・交流会」:確認  
(当日の行事担当・わが社の一押し・講演会・交流会および会員案内・招待者案内)
- 2) ANIA 新春交歓会(2/5 開催)への出席者の確認:確認
- 3)エヌシーアイ総合システム(株)とのパートナー企業の連携案内について:承認
- 4) H26 年度 NISA 活動トピックス検討:承認
- 5) H27 年度の研修項目について調査回答の依頼:回答依頼

**(10)第9回 理事会(役員会)** H27-1-23(木) 13:30~14:20、ホテルセントヒル長崎、議事録担当 小原理事  
役員以外の出席者:なし

- 1)平成 27 年新春「わが社の一押し」(前野交流委員):確認
- 2)平成 27 年新春講演会(中野企画委員長):確認
- 3)平成 27 年 産学官交流会(須藤委員長):確認
- 4)平成 27 年度 NISA 研修計画(研修委員会):承認
- 5)長崎県工業技術センターのクラウド技術・データ活用への取組み(セミナー共催):承認
- 6) 業務災害補償総合保険、および情報漏えい賠償責任保険について:開催不要の決定
- 7)H26 年度 NISA 活動トピックス:確認

**(11)第10回 理事会(役員会)** H27-2-19(木) 15:00~17:10、Nisa 研修室、  
議事録担当 荒川理事(代理 松井聡明)、役員以外の出席者:なし

- 1)長崎県立大学および長崎県グリーンニューディール室から説明。
  - i )【セキュリティ学科(仮)について】の説明  
長崎県立大学 副学長 (国際情報学部 情報メディア学科 教授) 伊藤 憲一  
同 教授 国際情報学部長 庄山 茂子
  - ii )【太陽光発電のパワーコントロール開発に関し国の情報について】 15:15~15:30  
長崎県産業労働部 グリーンニューディール推進室 係長 岩永 俊一
- 2) H27 年度理事会・役員会の開催日程について:承認
- 3)NISA 委員会の状況報告と来年度の各委員方針と運営の提出(3月16日):承認
- 4)決算 予想と対策 (収益事業):承認
- 5)平成 27 年度研修計画(研修委員会)について:承認
- 6) SE ハンドブックの会員への配付について:承認
- 7) H26 年度 NISA 活動トピックス:確認
- 8)その他
  - i )H27 総会時の「わが社の一押し」の一環として「iCD-WS」参加3社の発表とする。

**(12)第11回 役員会** H27-3-19(木) 15:30~17:30、Nisa 研修室、議事録担当 井川理事  
役員以外の出席者:なし

- 1)H27 年度理事会・役員会の開催日程について:承認
- 2)H27 年度通常総会の日程・講演会テーマ・わが社の一押し等の検討(4月理事会で決定):承認
  - i )講演会講師:IT 業界を主とした「メンタルヘルスケア・ストレスチェック」講師を計画
  - ii )「わが社の一押し」の一環として、「i コンピテンシ・ディクショナリ」ワークショップに参加された3社
- 3) NISA 委員会の状況報告と来年度の各委員方針と運営:承認
- 4)決算予想と対策 (収益事業):承認
- 5) マイナンバー講習会開催について(9月開催):承認
- 6) H26 年度 NISA 活動トピックス:確認